

京都市障害者生活状況調査について

1 調査目的

本市では、平成25年3月に「支えあうまち・京都 ほほえみプラン」（京都市障害者施策推進計画 計画期間：平成25年度～29年度）を策定し、障害保健福祉施策の総合的な推進に取り組んでいる。

今般、同計画の次期計画策定及び将来に向けた障害保健福祉施策の在り方を検討するための基礎資料とするため、障害のある市民の状況やニーズについて調査する「障害者生活状況調査」を実施する。

2 調査概要

項目		内 容	
		前回 有効回収数／送付数（回収率）	今回 送付予定数
調査の種類	A 身体障害者調査	425 人／1,005 人（42.3%）	約 1,000 人
	B 身体障害児調査	264 人／ 571 人（46.2%）	約 800 人
	C 知的障害者調査	278 人／ 780 人（35.6%）	約 1,000 人
	D 知的障害児調査	327 人／ 721 人（45.4%）	約 800 人
	E 精神障害入院患者調査	444 人／ 580 人（76.6%）	（調整中）
	F 精神障害入院患者専門職調査	269 人／ 580 人（46.4%）	（調整中）
	G 精神障害通院患者調査	202 人／ 530 人（38.1%）	（調整中）
	H 精神障害家族調査	202 人／ — （—）	（調整中）
	（参考調査）		
	I 発達障害者調査	209 人／ — （—）	（調整中）
	J 高次脳機能障害者調査	12 人／ — （—）	（調整中）
	K 難病患者調査【新規実施】		（調整中）
調査対象	A～D 市内に住所を有し、身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている方の中から無作為抽出		
	E 市内に住所を有し、精神障害全疾患に該当し、市内及び隣接地域の病院の精神科病床に入院している方で精神障害者保健福祉手帳の取得者又は同手帳 1～3 級程度に該当する方		
	F Eの対象者を良く知る医療従事者		
	G 市内に住所を有し、精神障害全疾患に該当し、市内及び隣接地域の精神科・神経科を標榜する医療機関において通院医療を受けている方で手帳の取得者		
	H E Gの家族		
	I～K 障害者団体の会員等		
調査方法	A～D 対象者個人に郵送により調査票を送付、回収		
	E～H 調査への協力を得られる入・通院先の病院等へ調査票を送付。郵送による回収又は同病院等で対象者から回収		
	I～K 障害者団体の協力のもと、障害者団体の会員に郵送等により調査票を配布、回収		
	※ いずれの調査票とも無記名とする。		

主な調査事項	A～E, G, I～K（本人調査） ①基本的事項（年齢、性別、配偶者の有無、世帯人数、生計中心者等） ②障害の種類、程度、内容、重複障害の状況、 <u>支援区分</u> ③生活状況（住まい、介助者等） ④障害福祉サービスの利用状況、 <u>介護保険サービス利用状況</u> ⑤外出状況、⑥就労、収入状況（児の調査は「教育」） ⑦健康、医療の状況、⑧社会参加の状況、⑨災害時の対応、 ⑩福祉施設の利用、福祉施策への要望、 <u>差別解消法の認知度</u> ⑪「 <u>京都ほほえみプラン</u> 」進ちょくに係る実感度 ⑫成年後見制度の利用（C調査、I調査） ⑬自由意見欄 等
<u>下線：新規・追加項目</u>	F（医療従事者調査） ①生活の状況（退院のために必要な事柄（福祉サービス、住まい、就労等）） ② <u>差別解消法の認知度</u> ③自由意見欄 等
	H（家族調査） ①基本的事項（年齢、性別等） ②生活状況（住まい、就労・日中活動、成年後見制度の利用、家族の苦労） ③福祉施設の利用、福祉施策への要望、差別解消法の認知度 ④「 <u>京都ほほえみプラン</u> 」進ちょくに係る実感度 ⑤自由意見欄 等

3 スケジュール

平成28年9～10月 調査票作成、送付に係る準備

平成28年11月上旬 調査開始（調査期間：1ヶ月程度）

平成28年度内 報告書取りまとめ

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【身体障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票A (18歳以上)	調査票B (18歳未満)
1 基本的事項			
(1)年齢		●	●
(2)性別		●	●
(3)配偶者の状況		●	
(4)世帯の人数		●	●
(5)世帯の生計中心者		●	●
2 障害の種類・程度・内容			
(1)障害の種類(視覚, 四肢, 内臓等)		●	●
(2)障害の重複		●	●
(3)身体障害者手帳の等級		●	●
(4)障害を受けた原因		●	●
(5)障害を受けた時期		●	●
(6)療育・精神障害者手帳の有無		●	●
(7)難病(特定疾患)認定の有無		●	●
(8)発達障害の診断の有無			●
(9)障害支援区分	【新規設問】	●	●
3 生活の状況			
(1)住んでいる場所		●	●
(2)生活を共にしている者		●	
(3)日常生活動作の状況		●	●
(4)主な介助者の状況		●	●
ア 主な介助者			
イ 主な介助者の年齢		●	●
ウ 介助者がいない場合の対応		●	●
エ 介助に要する時間			●
4 障害福祉サービス等の利用状況			
(1)各サービスの利用状況	【新規設問】 ※前回(H23)は、ホームヘルプ、短期入所、生活介護、外出時支援の利用状況を調査。今回はその他の障害福祉サービスの利用状況を追加	●	●
(2)ホームヘルプサービス(居宅介護など)		●	●
ア ホームヘルパーに手伝ってほしいこと			
イ ホームヘルパーの利用希望時間帯等		●	●
ウ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数		●	●
エ ホームヘルパーの利用希望時間数		●	●
(3)短期入所(ショートステイ)		●	●
ア 年間の利用回数			
イ 利用平均日数		●	●
(4)生活介護・療養介護の利用状況		●	
ア 利用回数			
(5)障害児通所支援の利用状況			●
ア 利用状況			
イ 利用回数			●
(6)介護保険サービス利用状況		●	
ア 利用の有無、内容	【新規設問】		
5 外出の状況			
(1)外出回数		●	●
(2)仕事・通学以外の外出の目的		●	●
(3)外出の際のお困りごと		●	●
(4)外出の際の利用交通機関		●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【身体障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票A (18歳以上)	調査票B (18歳未満)
6 就労(仕事)・収入・教育の状況			
(1) 就労状況		●	
(2) 就労している業種		●	
(3) 就労形態(正規、パート、就労支援事業所など)		●	
(4) 企業での就労希望の有無		●	
(5) 就学前教育等の状況			●
(6) 就学している学校			●
(7) 学校(高等部)卒業後の進路希望			●
(8) 休暇、放課後等の過ごし方			●
(9) 勤務先の従業員数		●	
(10) 就労の方法		●	
(11) 仕事についての不安や不満の有無		●	
(12) 仕事についての不安や不満の理由		●	
(13) 就労していない人の就労希望		●	
(14) 就労希望者の就労していない理由		●	
(15) 就労経験者の就労をやめた理由		●	
(16) 収入の有無		●	
(17) 収入の種類		●	
(18) 収入の額		●	
(19) 障害者の雇用・就業について必要なこと		●	
7 健康・医療などの状況			
(1) 過去1年間の治療の状況		●	●
(2) 慢性的な病気の状況		●	●
(3) 慢性的な病気の治療日数		●	●
(4) 障害の診断・判定場所			●
(5) 障害判定時の悩み			●
(6) 今後の治療、訓練についての希望			●
8 社会参加の状況			
(1) スポーツや文化活動等の社会参加の状況		●	
(2) 社会参加している活動の内容		●	
(3) 社会参加の際の利用施設		●	
(4) 社会参加していない理由		●	
(5) 今後の社会参加希望の有無		●	
(6) 社会参加してみたい活動の種類		●	
(7) 情報の入手方法		●	
9 災害時の対応			
(1) 避難場所の認知	「福祉避難所」の認知度を追加	●	●
(2) 災害時の単独避難の可否		●	●
(3) 自主防災組織の認知		●	●
(4) 自主防災組織への参加状況		●	●
(5) 災害時の不安		●	●
(6) 避難所における生活に係る不安		●	●
9 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など			
(1) 悩みごとの相談先		●	●
(2) 今後の相談内容		●	●
(3) 利用を希望する施設・障害者施策		●	●
(4) 今後、必要(希望)することがら		●	●
(5) 障害者差別解消法の認知度	【新規設問】	●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【身体障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票A (18歳以上)	調査票B (18歳未満)
10 「京都ほほえみプラン」の進ちょく状況(実感調査)			
(1)お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発	【新規設問】	●	●
(2)地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり	【新規設問】	●	●
(3)多様な相談体制の整備と関係機関の連携づくり	【新規設問】	●	●
(4)精神障害等のある人の支援体制づくり	【新規設問】	●	●
(5)就労支援ネットワークの構築	【新規設問】	●	●
(6)人にやさしく安心・安全なまちづくり	【新規設問】	●	●
自由記載欄		●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案) 【知的障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票C (18歳以上)	調査票D (18歳未満)
1 基本的事項			
(1)年齢		●	●
(2)性別		●	●
(3)配偶者の状況		●	
(4)世帯の人数		●	●
(5)世帯の生計中心者		●	●
2 障害の種類・程度・内容			
(1)療育手帳の判定(A・B)		●	●
(2)重複障害の状況		●	●
(3)身体・精神障害者手帳の有無		●	●
(4)身体障害者手帳の障害の種類		●	●
(5)身体障害者手帳の等級		●	●
(6)難病(特定疾患)認定の有無		●	●
(7)発達障害の診断の有無		●	●
(8)障害支援区分	【新規設問】	●	●
3 生活の状況			
(1)住んでいる場所		●	●
(2)日常生活動作の状況		●	●
(3)主な介助者の状況		●	●
ア 主な介助者			
イ 主な介助者の年齢		●	●
ウ 介助者がいない場合の対応		●	●
4 障害福祉サービス等の利用状況			
(1)各サービスの利用状況	【新規設問】 ※前回(H23)は、ホームヘルプ、短期入所、生活介護、外出時支援の利用状況を調査。今回はその他の障害福祉サービスの利用状況を追加	●	●
(2)ホームヘルプサービス(居宅介護など)		●	●
ア ホームヘルパーに手伝ってほしいこと			
イ ホームヘルパーの利用希望時間帯等		●	●
ウ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数		●	●
エ ホームヘルパーの利用希望時間数		●	●
(3)短期入所(ショートステイ)		●	●
ア 年間の利用回数			
イ 利用平均日数		●	●
(4)生活介護・療養介護の利用状況		●	
ア 利用回数			
(5)障害児通所支援の利用状況			●
ア 利用状況			
イ 利用回数			●
(6)介護保険サービス利用状況		●	
ア 利用の有無、内容	【新規設問】		
5 外出の状況			
(1)外出回数		●	●
(2)仕事・通学以外の外出の目的		●	●
(3)外出の際の利用交通機関		●	●
(4)外出の際のお困りごと		●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案) 【知的障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票C (18歳以上)	調査票D (18歳未満)
6 就労(仕事)・収入・教育の状況			
(1)就労状況		●	
(2)就労している業種		●	
(3)就労形態(正規, パート, 就労支援事業所など)		●	
(4)企業での就労希望の有無		●	
(5)就学前教育等の状況			●
(6)就学している学校			●
(7)学校(高等部)卒業後の進路希望			●
(8)休暇, 放課後等の過ごし方			●
(9)勤務先の従業員数		●	
(10)就労の方法		●	
(11)仕事についての不安や不満の有無		●	
(12)仕事についての不安や不満の理由		●	
(13)就労していない人の就労希望		●	
(14)就労希望者の就労していない理由		●	
(15)就労経験者の就労をやめた理由		●	
(16)収入の有無		●	
(17)収入の種類		●	
(18)収入の額		●	
(19)収入の管理者		●	
(20)障害者の雇用・就業について必要なこと		●	
7 健康・医療などの状況			
(1)過去1年間の治療の状況		●	●
(2)慢性的な病気の状況		●	●
(3)慢性的な病気の治療日数		●	●
(4)障害の診断・判定場所			●
(5)障害判定時の悩み			●
(6)今後の治療, 訓練についての希望			●
8 社会参加の状況			
(1)スポーツや文化活動等の社会参加の状況		●	
(2)社会参加している活動の内容		●	
(3)社会参加の際の利用施設		●	
(4)社会参加していない理由		●	
(5)今後の社会参加希望の有無		●	
(6)社会参加してみたい活動の種類		●	
9 災害時の対応			
(1)避難場所の認知	「福祉避難所」の認知度を追加	●	●
(2)災害時の単独避難の可否		●	●
(3)自主防災組織の認知		●	●
(4)自主防災組織への参加状況		●	●
(5)災害時の不安		●	●
(6)避難所における生活に係る不安		●	●
10 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など			
(1)悩みごとの相談先		●	●
(2)今後の相談内容		●	●
(3)利用を希望する施設・障害者施策		●	●
(4)今後, 必要(希望)することがら		●	●
(5)差別解消法の認知度	【新規設問】	●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案) 【知的障害者児・者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票C (18歳以上)	調査票D (18歳未満)
11 「京都ほほえみプラン」の進捗状況(実感調査)			
(1)お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発	【新規設問】	●	●
(2)地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり	【新規設問】	●	●
(3)多様な相談体制の整備と関係機関の連携づくり	【新規設問】	●	●
(4)精神障害等のある人の支援体制づくり	【新規設問】	●	●
(5)就労支援ネットワークの構築	【新規設問】	●	●
(6)人にやさしく安心・安全なまちづくり	【新規設問】	●	●
12 家族調査			
(1)本人との関係		●	
(2)家族と同居できない場合の居住地		●	
(3)家族と同居できない場合の収入		●	
(4)成年後見制度の利用状況		●	
(5)成年後見制度を利用しやすくする方策		●	
(6)地域福祉権利擁護事業の利用状況		●	
自由記載欄		●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案) 【精神障害者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票E (入院患者)	調査票F (専門職)	調査票G (通院患者)	調査票H (家族)
1 基本的事項					
(1)(本人)年齢		●		●	●
(2)(本人)性別		●		●	●
* 家族(調査票記入者)の性別	削除				
* 家族(調査票記入者)の年齢					●
* 家族(調査票記入者)と本人との関係					●
(3)配偶者の状況		●		●	
(4)世帯の人数		●		●	
(5)世帯の生計中心者		●		●	
(6)医療費の状況		●		●	
(7)入院の状況(入院中か否か)					●
(8)精神疾患の状況		●		●	
(9)入院期間		●			
2 精神疾患の種類・程度・内容					
(1)退院の可能性			●		
(2)精神障害者保健福祉手帳の障害の等級		●		●	
(3)身体障害者手帳・療育手帳の有無		●		●	
(4)障害支援区分	【新規設問】	●		●	
3 生活の状況・障害福祉サービス等の利用状況					
(1)住んでいる場所				●	
(2)日常生活動作の状況		●		●	
(3)退院後、地域生活のための支援			●		
ア 退院(地域移行)のための事業の利用状況			●		
イ 今後の退院支援の取組予定			●		
ウ 本人の退院(地域移行)のための事業の利用の有無			●		
エ 本人の退院支援の受け入れについて			●		
オ 本人の社会復帰や退院支援の可能性について			●		
カ 本人の地域生活の関心への働きかけ			●		
(4)退院後、生活していく上で必要なこと		●			
ア 退院後、地域生活で必要とすること(サービス等)			●		
イ 退院後、本人が地域生活で必要とする支援			●		
ウ ケースワーカー(病院)として、本人の退院に関して心配なこと、課題			●		
(5)生活していくうえで必要なこと				●	●
(6)各障害福祉サービス等の利用状況	【新規設問】 ※前回(H23)は、ホームヘルプの利用状況を調査。今回はその他の障害福祉サービスの利用状況を追加			●	○ (ホームヘルプ利用状況)
(7)ホームヘルプサービス(居宅介護等)					
ア ホームヘルパーに手伝ってほしいこと		●		●	●
* 本人に適切なホームヘルパーのサービス内容			●		
イ ホームヘルパーの利用希望時間帯等		●		●	
ウ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数		●		●	●
* 本人に適切なホームヘルパーの1週間当たりの利用日数			●		
エ ホームヘルパーの利用希望時間数		●		●	●
* 本人に適切なホームヘルパーの利用時間数			●		
(8)介護保険サービス利用状況	【新規設問】			●	
(9)入院前の日中の過ごし方		●			

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【精神障害者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票E (入院患者)	調査票F (専門職)	調査票G (通院患者)	調査票H (家族)
(10)退院後の活動の場に対する意向		●			
＊本人に適当日中の活動の場			●		
(11)病院以外での暮らしの時期		●			
(12)病院以外での暮らしのためのサポートや支援		●			
(13)退院後に希望する住まい		●			
＊退院後に適当な住まい(生活の場)			●		
(14)家族と同居できない場合の居住地					●
(15)家族と同居できない場合の収入					●
(16)成年後見制度の利用状況					●
(17)成年後見制度を利用しやすくする方策					●
(18)地域福祉権利擁護事業の利用状況					●
(19)家族の苦勞					●
(20)本人の病状悪化時の苦勞					●
(21)今後の不安					●
4 外出の状況					
(1)外出回数				●	
(2)仕事・通学以外の外出の目的				●	
(3)外出の際の利用交通機関				●	
5 就労(仕事)・収入の状況					
(1)入院前の就労状況		●			
(2)入院前の就労していた業種		●			
(3)入院前の就労形態		●			
(4)退院後の就労意向		●			
＊退院後、本人に最も適当な働く場			●		
(5)退院後の希望就労形態		●			
＊退院後、本人に最も適当な就労形態			●		
(6)就労状況				●	
(7)就労している業種				●	
(8)就労形態				●	
(9)最適だと思われる就労形態					●
(10)企業での就労希望の有無				●	
(11)勤務先の従業員数				●	
(12)就労の方法				●	
(13)仕事についての不安や不満の有無				●	
(14)仕事についての不安や不満の理由				●	
(15)就労していない人の就労希望				●	
(16)就労希望者の就労していない理由				●	
(17)就労していない方の日中の過ごし方				●	
(18)日中の過ごし方					●
(19)就労経験者の就労をやめた理由				●	
(20)就労経験者の日中の過ごし方				●	
(21)収入の有無		●		●	
(22)収入の種類		●		●	
(23)収入の額		●		●	
(24)収入の管理者		●		●	
(25)障害者の雇用・就業について必要なこと				●	

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案) 【精神障害者調査】

内 容	前回調査からの変更等	調査票E (入院患者)	調査票F (専門職)	調査票G (通院患者)	調査票H (家族)
6 健康・医療などの状況					
(1) 過去1年間の治療の状況				●	
(2) 慢性的な病気の状況				●	
(3) 慢性的な病気の治療日数				●	
(4) 夜間や休日における診療ニーズ				●	
(5) 夜間や休日に診療を受けなくなった時の対処				●	
7 社会参加の状況					
(1) スポーツや文化活動等の社会参加の状況				●	
(2) 社会参加している活動の内容				●	
(3) 社会参加の際の利用施設				●	
(4) 社会参加していない理由				●	
(5) 今後の社会参加希望の有無				●	
(6) 社会参加してみたい活動の種類				●	
8 災害時の対応					
(1) 避難場所の認知	「福祉避難所」の認知度を追加			●	
(2) 災害時の単独避難の可否				●	
(3) 自主防災組織の認知				●	
(4) 自主防災組織への参加状況				●	
(5) 災害時の不安				●	
(6) 避難所における生活に係る不安				●	
9 福祉施設の利用及び精神保健福祉施策への要望など					
(1) 悩みごとの相談先				●	
(2) 今後の相談内容				●	
(3) 希望する生活の場				●	
(4) 利用を希望する施設・障害者施策		●		●	
(5) 福祉施策への要望		●		●	●
(6) 差別解消法の認知度	【新規設問】	●	●	●	●
10 「京都ほほえみプラン」の進ちょく状況(実感調査)					
(1) お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発	【新規設問】	●		●	●
(2) 地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり	【新規設問】	●		●	●
(3) 多様な相談体制の整備と関係機関の連携づくり	【新規設問】	●		●	●
(4) 精神障害等のある人の支援体制づくり	【新規設問】	●		●	●
(5) 就労支援ネットワークの構築	【新規設問】	●		●	●
(6) 人にやさしく安心・安全なまちづくり	【新規設問】	●		●	●
自由記載欄		●	●	●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【発達障害者, 高次脳機能障害者, 難病患者調査】

内 容	前回調査からの変更等 及び確認事項等	調査票Ⅰ (発達)	調査票Ⅱ (高次脳機能)	調査票Ⅲ (難病) 【新規】
1 基本的事項				
(1) 年齢		●	●	●
(2) 性別		●	●	●
(3) 配偶者の状況		●	●	●
(4) 世帯の人数		●	●	●
(5) 世帯の生計中心者		●	●	●
(6) 医療費の種別			●	
2 障害の種類・程度・内容				
(1) 手帳の有無		●	●	●
(2) 手帳・障害の等級・内容		●	●	●
(3) 手帳情報の入手先		●	●	
(4) 手帳取得時に困ったこと		●	●	
(5) 手帳がなくて困ったこと		●	●	
(6) 手帳を持っていない理由		●	●	
(7) 手帳を申請していない理由		●	●	
(8) 発達障害の診断の有無		●		
(9) 精神疾患の内容		●		
(10) 発達障害以外の障害の内容		●		
(11) 高次脳機能障害の原因疾患			●	
(12) 脳外傷の場合, その原因			●	
(13) 障害を受けた(難病になった)時期			●	●
(14) 高次脳機能障害の内容			●	
(15) 疾病名(難病)				●
(16) 障害支援区分	【新規設問】	●	●	●
3 生活の状況				
(1) 住んでいる場所		●	●	●
(2) 生活を共にしている者		●	●	●
(3) 日常生活動作の状況		●	●	●
(4) 主な介助者の状況		●	●	●
ア 主な介助者		●	●	●
イ 主な介助者の年齢		●	●	●
ウ 介助者がいない場合の対応		●	●	●
4 障害福祉サービス等の利用状況				
(1) 各サービスの利用状況		●	●	●
(2) ホームヘルプサービス(居宅介護など)		●	●	●
ア ホームヘルパーに手伝ってほしいこと		●	●	●
イ ホームヘルパーの利用希望時間帯等		●	●	●
ウ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数		●	●	●
エ ホームヘルパーの利用希望時間数		●	●	●
(3) 短期入所(ショートステイ)		●	●	●
ア 年間の利用回数		●	●	●
イ 利用平均日数		●	●	●
(3) 生活介護・療養介護の利用状況		●	●	●
ア 利用状況		●	●	●
イ 利用回数		●	●	●
(4) 介護保険サービスの利用の有無・内容	【新規設問】	●	●	●
(5) 障害基礎年金受給の有無		●		
(6) 生活していくうえで必要な事柄		●		

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【発達障害者、高次脳機能障害者、難病患者調査】

内 容	前回調査からの変更等 及び確認事項等	調査票 I (発達)	調査票 J (高次脳機能)	調査票 K (難病) 【新規】
4 外出の状況				
(1)外出回数		●	●	●
(2)仕事・通学以外の外出の目的		●	●	●
(3)外出の際のお困りごと		●	●	●
(4)外出の際の利用交通機関		●	●	●
5 就労(仕事)・収入・教育の状況				
(1)就労状況		●	●	●
(2)就労している業種		●	●	●
(3)就労形態		●	●	●
(4)企業での就労希望の有無		●	●	●
(5)就学前教育等の状況		●	●	●
(6)就学している学校		●	●	●
(7)学校(高等部)卒業後の進路希望		●	●	●
(8)休暇、放課後等の過ごし方		●	●	●
(9)勤務先の従業員数		●	●	●
(10)就労の方法		●	●	●
(11)仕事についての不安や不満の有無		●	●	●
(12)仕事についての不安や不満の理由		●	●	●
(13)就労していない人の就労希望		●	●	●
(14)就労希望者の就労していない理由		●	●	●
(15)就労経験者の就労をやめた理由		●	●	●
(16)収入の有無		●	●	●
(17)収入の種類		●	●	●
(18)収入の額		●	●	●
(19)収入の管理者		●		
(20)障害者の雇用・就業について必要なこと		●	●	●
6 健康・医療などの状況				
(1)過去1年間の治療の状況		●		
(2)慢性的な病気の状況		●		
(3)慢性的な病気の治療日数		●		
(4)発症後の初診の医療機関			●	
(5)発症後の初診診療科			●	
(6)現在の診療科			●	
(7)転院の有無			●	
(8)転院回数			●	
(9)難病及び関連する疾病の治療日数				●
7 社会参加の状況				
(1)スポーツや文化活動等の社会参加の状況		●	●	●
(2)社会参加している活動の内容		●	●	●
(3)社会参加の際の利用施設		●	●	●
(4)社会参加していない理由		●	●	●
(5)今後の社会参加希望の有無		●	●	●
(6)社会参加してみたい活動の種類		●	●	●

京都市障害者生活状況調査アンケート調査項目(案)【発達障害者, 高次脳機能障害者, 難病患者調査】

内 容	前回調査からの変更等 及び確認事項等	調査票Ⅰ (発達)	調査票Ⅱ (高次脳機能)	調査票Ⅲ (難病) 【新規】
8 災害時の対応				
(1)避難場所の認知	設問・選択肢に「福祉避難所」を追加	●	●	●
(2)災害時の単独避難の可否		●	●	●
(3)自主防災組織の認知		●	●	●
(4)自主防災組織への参加状況		●	●	●
(5)災害時の不安		●	●	●
(6)避難所における生活に係る不安		●	●	●
9 福祉施設の利用及び福祉施策への要望など				
(1)悩みごとの相談先		●	●	●
(2)今後の相談内容・困っていること		●	●	●
(3)利用を希望する施設・障害者施策		●	●	●
(4)今後、必要(希望)することがら		●	●	●
(5)差別解消法の認知度	【新規設問】	●	●	●
10 「京都ほほえみプラン」の進捗状況(実感調査)				
(1)お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発	【新規設問】	●	●	●
(2)地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり	【新規設問】	●	●	k
(3)多様な相談体制の整備と関係機関の連携づくり	【新規設問】	●	●	●
(4)精神障害等のある人の支援体制づくり	【新規設問】	●	●	●
(5)就労支援ネットワークの構築	【新規設問】	●	●	●
(6)人にやさしく安心・安全なまちづくり	【新規設問】	●	●	●
11 家族調査				
(1)本人との関係		●		
(2)家族と同居できない場合の居住地		●		
(3)家族と同居できない場合の収入		●		
(4)成年後見制度の利用状況		●		
(5)成年後見制度を利用しやすくする方策		●		
(6)地域福祉権利擁護事業の利用状況		●		
自由記載欄		●	●	●